

平成29年度 アドバイザー派遣事業実施レポート

研究団体名	中部ホワイトボード・ミーティング®研究会
実施期日	平成29年 8月 8日 (火) 13:30～16:00
実施場所	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
アドバイザーの 所属・氏名	ホワイトボード・ミーティング®認定講師 横山 弘美 (東京都練馬区立大泉南小学校・教務主幹)
研 修 内 容	
<p>テーマ：「心の体力」を温めるホワイトボード・ミーティング®の実践 ～ 承認し合える支援や指導のあり方について ～</p> <p>1 ホワイトボード・ミーティング®とは何か</p> <p>○ホワイトボード・ミーティング®は、良好なコミュニケーションと学びあう関係を目指すものである。</p> <p>○ミニホワイトボードを使用しながら、ホワイトボード・ミーティング®のオープン・クエスチョンについて説明していただき、その後、発散・収束・活用の方法について解説していただいた。2名でペアになり、オープン・クエスチョンを相互に行い、使い方に慣れていった。</p> <p>2 ホワイトボード・ミーティング®を用いた実践について</p> <p>○教師同士のホワイトボード・ミーティング®では、実際に授業等でどのように活用されているのか実感がわからない。そこで、横山先生の学校での実践事例を紹介していただいた。</p> <p>○大泉南小学校でのホワイトボード・ミーティング®を用いた実践例を紹介していただいた。特に家庭科での実践例は、家庭科部員にとって大変参考になった。</p> <p>3 ホワイトボード・ミーティング®を用いたケース会議の演習</p> <p>○ホワイトボード・ミーティング®は、教育現場だけの活用にとどまらない。会社や学校での職員会など、大人が職場で使用する、円滑な会議のツールとして極めて有効である。その活用事例として、ケース会議でのホワイトボード・ミーティング®を紹介していただいた。</p> <p>○困り感のある児童の事例を元にしながら、実態把握や解決策など教育現場での活用方法について演習を行った。</p> <p>【まとめ】</p> <p>ホワイトボード・ミーティング®は、2学期からでも取り組める魅力的なツールである。しかし、ツールであるということは、使用目的をしっかりと把握して取り組まなければならない。「これさえしておけば、万事がうまくいく」という都合の良いツールではない。教師自身が、「どんな子どもに育てたいか」というビジョンをしっかりと持って臨まなければならない。その意味で、児童にどう使うかという視点ではなく、教師自身の心構えやコミュニケーション能力等について考えさせられるよい機会となった。</p>	